

知る楽しさをもっと。

# やりとり手帳

職員用

# 3-1 時間割と人間関係マップから 気になったこと

## 気になったことメモ

本人のこと



本人

家族のこと



病歴



本人

介護サービスの  
利用状況など



本人

### 3-2 利用者基本状況

介護保険	保険者番号	被保険者番号		被保険者番号	年	月	日
	要介護度	要介護 ( <input type="checkbox"/> 認定済 <input type="checkbox"/> 申請中 <input type="checkbox"/> 未申請 <input type="checkbox"/> その他 ( ) )					
	有効期間	年 月 日 ~		年 月 日	区分支給限度額	単位	
	審査会意見						
	負担割合率	割	負担限度額	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 ( 段階)		社福減免	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
日常生活自立度	障害高齢者ランク	<input type="checkbox"/> 自立 <input type="checkbox"/> J1 <input type="checkbox"/> J2 <input type="checkbox"/> A1 <input type="checkbox"/> A2 <input type="checkbox"/> B1 <input type="checkbox"/> B2 <input type="checkbox"/> C1 <input type="checkbox"/> C2					
	認知症高齢者ランク	<input type="checkbox"/> 自立 <input type="checkbox"/> I <input type="checkbox"/> IIa <input type="checkbox"/> IIb <input type="checkbox"/> IIIa <input type="checkbox"/> IIIb <input type="checkbox"/> IV <input type="checkbox"/> M					
医療保険	<input type="checkbox"/> 国民健康保険 <input type="checkbox"/> 社会保険 <input type="checkbox"/> 後期高齢者医療保 <input type="checkbox"/> 共済組合保険 <input type="checkbox"/> 船員組合保険 <input type="checkbox"/> その他 ( )						
障害等認定	<input type="checkbox"/> 身障		<input type="checkbox"/> 養育				
	<input type="checkbox"/> 精神		<input type="checkbox"/> 難病				
	<input type="checkbox"/> 公害		<input type="checkbox"/> 被曝				
経済状況	<input type="checkbox"/> 国民年金 <input type="checkbox"/> 厚生年金 <input type="checkbox"/> 障害年金 <input type="checkbox"/> 生活保護 <input type="checkbox"/> その他 ( )						円/月
(緊急連絡先)	氏名	続柄等	同別	介護	住所	電話番号	

主治医・かかりつけ医	医療機関						傷病名					受信内容等					
	病医院名																
	医師名	( 科)															
	住所・電話	電話:															
	病医院名																
	医師名	( 科)															
	住所・電話	電話:															
	病医院名																
	医師名	( 科)															
住所・電話	電話:																
マネージャー	所属																
	名前																
	住所・電話	電話:															
委員	名前																
	住所・電話	電話:															
服薬状況	処方箋	起床	朝	昼	夕	寝前	備考	処方箋	起床	朝	昼	夕	寝前	備考			
事項記																	

---

---

## 3-3 名刺一覧

---

---

ケアマネージャーなどの名刺を貼っておきましょう。


# 3-4 ニューアセスメントシートを使うヒント

## ●はじめに

地域包括支援センターには、多様な相談者が訪れます。ニューアセスメントシートは、「自分で書くこと（描くこと）」を前提として作成しました。自らが書いた文字や絵には、その人らしさや言語化できない思いや人生経験などがにじみ出ています。時にはユーモラスな表現もあり、ニューアセスメントは多様な角度から対話のきっかけをくれます。質問をうまく設計しながら、少しずつ知り合っていきましょう。ただし障がい等により本人が書けないこともありますので、代筆するかどうか専門職のみなさんにお任せします。

## ●ニューアセスメントシートの特徴

ニューアセスメントシートは、2章構成です。椅子に座ったら、1章のシートとペンを渡し、「書ける範囲で構わないのでご自身で書いてください」と伝えましょう。様子を見ながら「文字で書きにくいことは、絵でも構いません」と声をかけます。2章は、在宅を希望される方のためにご自宅の状況を確認するシートです。一部写真にしたほうが良い箇所もあります。写真を撮影する場合もできるだけ本人に撮影してもらったほうが良いでしょう。「なぜこの写真を撮ったのだろう？」と思う写真があるかもしれませんが、その疑問を対話のきっかけにしてください。

「出会い直し」をテーマとして研修をしてきました。面談で専門職が質問し、記入することを繰り返していくと、受動的でいけばよいことを学習します。ニューアセスメントシートは、いつもと異なる対応に文句を言いたくなります。シートとペンを前に、「字が汚いから書きたくない」と言われたり、「書けない」と主張する場合もあるかもしれませんが、書けるところから少しずつ埋められるようにサポートします。何を書いていいかわからなさそうだと思うときは、短い質問を交えながら書けるように促します。本人の中では、書くかどうかを決定し、どこまで情報を開示しようか考えながら、書く。こんなことを書いて伝わるのかと不安になる、それでも書く。書くことには時間が必要です。うまく書けないことは、カメラやスマホで写真を撮ってくることもあるかもしれません。過去の手帳などを持参することもあるでしょう。あなたになんとかして伝えたいとする段階に入ると「主体的でいるほうが楽しい」ことを学習しています。こうして参加の階段を1段ずつのぼると、お互いにより良くなろうとする力が働いていきます。

伝えようとする行動、知ろうとする行動は、どちらも主体的な行為です。コミュニティデザインやまちづくりの分野では、主体的に生きる人たちのことを「生活者」と呼んでいます。生活者とは、自分が家族や地域の一員であり、消費者であり有権者であり納税者でもある強みを活かしながら、自分で自分の生き方を決める人のことです。こういう人々がたくさん住んでいるまちができたらすてきです。みなさんがこのシートを使うことは、まちづくりにつながっています。シートを使いながら生活者の力がどんどん発揮されるまちとなるように、経験を重ねていきましょう。

## 表紙

- ・氏名と呼ばれたい名前を書けるようにしています。
- ・写真も入れられるようになっています。

## 1 - 1 わたしのこと

- ・基礎情報と連絡先、話す上で配慮してほしいことなどが書けます。  
(美容室などのサービスシートのようなものです)

## 1 - 2 1週間の時間割

- ・どんな生活をしているのかを時間割のように記入します。晩酌など習慣となっていることも記入してもらおうといいでしょう。
- ・新しくはじめたいことについても記入できるようにしています。

## 1 - 3 人間関係マップ

- ・1週間、1ヶ月、1年という頻度でどんな人とつながっているのかを記入できます。
- ・つながりは、血縁関係、友だちや行きつけのお店、自治会や健康づくりのための運動などの社会活動、医療福祉などのケアをどれくらい使っているかの4つに分けています。
- ・4つのうち書きやすそうな項目からはじめましょう。

## 1 - 4 わたしの行きつけ

- ・自宅を記入するところからはじめます。
- ・自宅周辺の行きつけの店や散歩などによく行く場所がないかも記入してもらいます。
- ・困ったときに助けてくれる人はどこにいるのかも記入します。市外の場合は、車でどれくらいかかるか等を聞いておくといいでしょう。
- ・自宅がどこかという事実情報からはじめ、楽しそうな情報、困ったときの情報となるように質問します。

## 1 - 5 わたしの足あと

- ・その人の人生や主な出来事を書けるようになっています。
- ・歴代の趣味を聞くとやりたいことが見つかる場合もあります。
- ・年代別に憧れの人を聞くのもやってみたいことの発見につながる可能性があります。

## 2 - 2 暮らしの知恵と工夫

- ・自宅に同行して、一緒に確認しながら書くとよいでしょう。
- ・知恵や工夫を一通り見せてもらい、ここはすばらしい！と思う箇所を記録したいとお願いしましょう。写真は本人が撮れるように促しましょう。難しそうな場合は変わりに撮影しましょう。

## 2 - 3 在宅を続けるためのポイント

- ・工夫や知恵から暮らしやすさを箇条書きで整理できるようにふりかえりをしましょう。下記のボックスに書かれている「できること」「できるが周囲が心配すること」を活用しながら、掘り下げていきましょう。
- ・暮らしにくさも同様にふりかえり、下記のボックスに書かれている「不安なこと」「できないこと」を活用しながら、掘り下げていきましょう。

## 3 - 1 気になったこと

- ・専門職が手元でメモするためのシートです。
- ・時間割と人間関係マップから気になったことは、質問できるように整理しましょう。
- ・本人がチャレンジしたいことはすぐには出てきませんが、したいことにつながりそうなキーワードなどもメモしておきましょう。

## 3 - 2 利用者基本情報

- ・既存のシートを掲載しています。

## 3 - 3 名刺一覧

- ・ケアマネジャー等の名刺を貼り付けてなくさないようにするページです。

## 3 - 4 ニューアセスメントシートを使うヒント

- ・本人が記入するアセスメントシートの使い方やうまく活用するためのヒントについて書いてあります。